



福岡医発第1401号(保)
平成15年10月31日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 関 原



平成16年4月診療報酬改定要望事項等(中医協提出)について

平成15年10月22日開催された中央社会保険医療協議会(中医協)総会において、平成16年4月の診療報酬改定への要望事項を診療側委員全員(日医、日歯、日薬)の連名で提出した旨、別紙のとおり日本医師会より通知がありましたのでお知らせいたします。

今回の要望事項は、10月1日の総会に提出した基本的な考え方を柱に、従来からの日医の主張や、社会保険診療報酬検討委員会等から指摘のあった平成14年診療報酬改定の不合理点や次回診療報酬改定に対する要望書をベースに、すべて網羅するように総論的な記載とし、漏れがないよう各項目に「その他必要事項」という記載を加えられています。具体的な改定項目については、今後の中医協で鋭意検討されることとなっています。

また、同日の総会において、平成14年度日医医療経営調査結果も提出されました。これは、全国5,280医療機関(診療所:4,674、病院:606)の平成13年と平成14年の1年間の経営状況を定点で比較したものです。本調査では、従来から中医協でも指摘されてきた①定点観測による変動の把握、②1年間の経営データの把握、③経営指標に基づく分析が可能となっています。本件についても資料が日本医師会より送付してまいりましたので、併せて送付いたします。



事務連絡(保109)

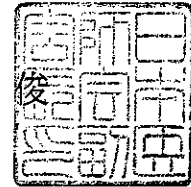
平成15年10月22日

都道府県医師会

保険担当理事 殿

日本医師会副会長

青 柳



平成16年4月診療報酬改定要望事項等（中医協提出）の送付について

本日開催された中央社会保険医療協議会（中医協）総会において、平成16年4月の診療報酬改定への要望事項を診療側委員全員（日医、日歯、日薬）の連名で提出いたしましたので、取り急ぎ資料をお送りいたします。

今回の要望事項は、10月1日の総会に提出した基本的な考え方を柱に、従来からの日医の主張や、社会保険診療報酬検討委員会等から指摘のあった平成14年診療報酬改定の不合理点や次回診療報酬改定に対する要望書をベースに、すべて網羅するように総論的な記載とし、漏れがないよう各項目に「その他必要事項」という記載を加えております。具体的な改定項目については今後中医協で鋭意検討していくことになります。

また、同日の総会において、平成14年度日医医療経営調査結果も提出いたしました。これは全国5,280医療機関（診療所：4,674、病院：606）の平成13年と平成14年の1年間の経営状況を定点で比較したものであります。本調査では、従来から中医協でも指摘されてきた①定点観測による変動の把握、②1年間の経営データの把握、③経営指標に基づく分析を可能としました。

本件につきましても、併せて資料をお送りいたします。

（添付資料）

1. 国民により良い医療を提供するための診療報酬適正評価に関する要望事項（平15.10.22 中医協総会提出資料）
2. TKC（M-BAST）に基づく平成14年度日医医療経営調査
①要約編、②総括編、③資料編（平15.10.22 中医協総会提出資料）



平成15年10月22日

中央社会保険医療協議会
会長 星 野 進 保 殿

中央社会保険医療協議会委員
青 柳 俊 也
櫻 井 秀 利
西 島 英 子
青 井 禮 子
佐 々 英 達
平 井 泰 行
譽 田 雄 郎
漆 畑 稔

国民により良い医療を提供するための 診療報酬適正評価に関する要望事項

〔医 科〕

I 基本的考え方

1. 全ての国民が安心して医療が受けられる体制を確保すること
2. 医療の質が確保できること
3. 患者の安全に立脚した診療報酬であること
4. 医学・医療の進歩に見合った制度であること
5. 「もの」と「技術」の分離及び技術評価をより重視すること
6. 医療機関の安定的経営を保障するものであること

II 具体的検討事項

1. 適正な技術料評価の診療報酬体系の確立

(1) 医師の基本技術に対する適正評価

(薬剤管理コストの設定(処方料等)、初診料・再診料の評価、診療科の特性に応じた外来管理加算の見直し、手術・検査等における人件費部分に着目した評価、検体検査判断料の評価等)

(2) 各診療科固有の専門技術に対する適正評価

(処置及びリハビリテーション等の月内逓減制・算定制限、検査点数、画像診断等の不合理見直し)

- (3) 現行の技術評価算定方式の不合理的是正
 - (包括化における「もの」の部分を見直し、技術部分の引き上げ及び評価されていない「もの」の評価等)
- (4) 手術に係る施設基準廃止とその他の施設基準の是正
- (5) 減算方式の廃止と加算方式への移行
- (6) その他必要事項

2. 医療機関機能の明確化及び有機的連携の強化に対する診療報酬上の対応

- (1) 特定機能病院・地域医療支援病院及び国公立病院の再検討
 - (入院の機能を主に評価、公的医療機関における政策医療の推進)
- (2) 療養病床の再検討
- (3) 診療情報提供料の拡大と評価の確立
 - (大病院の紹介外来制の推進、紹介患者加算の見直しと逆紹介の評価、診療情報の開示に対する評価、インフォームド・コンセントの評価)
- (4) 病院と診療所の特性に応じた診療報酬体系の確立
 - (有床診療所・無床診療所の位置づけの明確化及び適切な評価、大病院への診療報酬の重点的配分の是正)
- (5) 病院の外来専用診療所（門前診療所）の問題
- (6) その他必要事項

3. 地域医療の推進と積極的評価

- (1) 在宅患者に対する総合的医学管理の適正評価
- (2) 訪問診療、訪問看護の適正評価と訪問看護の積極的評価
- (3) 在宅患者の終末期医療に対する医学管理の適正評価
- (4) かかりつけ医機能の積極的評価と紹介外来の評価
 - (特に診療所外来機能の積極的評価)
- (5) 往診と訪問診療に対する評価の見直しとそれに伴う回数制限の撤廃
- (6) その他必要事項

4. 医療経営基盤の安定確保等

- (1) 医療機関の設備投資・維持管理費用に対する評価
- (2) 外来看護料・外来施設料の評価
- (3) 入院部門における医療経営基盤の安定確保
 - ・入院基本料の評価是正

- ・入院患者の他医療機関への受診
- (4) 小児医療の評価及び乳幼児医療を重視する診療報酬上の配慮と義務教育期間の給付率の検討
- (5) 不採算診療項目の適正評価
- (6) コメディカル人件費の診療報酬への適正な組み入れ
- (7) その他必要事項

5. その他

- (1) 心のケアの評価
- (2) 救急医療の評価の充実と時間外小児診療報酬の見直し
- (3) 生活習慣病指導管理料の評価見直し（適応疾患の拡大等）
- (4) 処方料と処方せん料及び後発医薬品使用促進のための点数格差是正
- (5) 長期投薬に伴う管理の評価
- (6) 急性期、回復期、維持期リハビリテーションの評価及びリハビリテーション処方料の評価
- (7) 感染症や危険物等ハイリスクの廃棄物処理に対する診療報酬上の評価（感染性廃棄物、X線フィルム処理廃液、ディスプレイ用品等）
- (8) 医療材料価格の適正化
- (9) 特定療養費制度拡大等の是正
- (10) 週休2日制に対応した診療報酬上の評価
- (11) 外来は原則出来高とし、病態に応じた診療報酬体系の自由な選択
- (12) 人件費相当分の診療報酬の体系化（確保）
- (13) 適正な診療報酬についての財源確保
- (14) 公私医療機関の経営基盤の違いを配慮
- (15) 診療報酬と調剤報酬との整合性
- (16) 診療報酬算定のルール化
- (17) 診療報酬点数表の整理並びに請求事務の簡素化
- (18) 指導大綱及び療養担当規則等の見直し
- (19) 届出等が必要な算定要件の見直し
- (20) 改定時における点数表の早期告示と周知期間の確保
- (21) その他必要事項

〔歯 科〕

I 基本的考え方

1. 生涯を通じた口腔機能の維持・増進を図るための「かかりつけ歯科医」機能の推進と充実
2. 重症化予防技術の充実
3. 地域医療との連携を重視した在宅歯科医療等の充実
4. 「もの」と「技術」の分離と適正な技術評価
5. 医療安全対策と医療の質の確保・向上

II 具体的検討事項

1. 生涯を通じた口腔機能の維持・増進を図るための「かかりつけ歯科医」機能の推進と充実
 - (1) 患者の視点を重視した情報提供等の充実・評価
 - (2) かかりつけ歯科医再診料の評価
 - (3) 歯科診療所（かかりつけ歯科医）と病院歯科における機能や連携に応じた評価
 - (4) 高齢者、障害者、全身疾患を有する患者に対する医科・歯科連携による歯科医療の確立と評価
 - (5) 検査項目の充実
 - (6) 少子社会に対応した歯科医療の評価
2. 重症化予防技術の充実
 - (1) 齲蝕や歯周疾患等の継続的な維持管理の充実・評価
 - (2) 歯冠修復及び欠損補綴の継続的な維持管理の評価
 - (3) 口腔機能の維持・増進の観点を踏まえた補綴物維持管理の見直し
3. 地域医療との連携を重視した在宅歯科医療等の充実
 - (1) かかりつけ歯科医機能及び病診連携に基づく在宅歯科医療の評価
 - (2) 高齢者の口腔機能の維持・増進によるQOL向上の観点を踏まえた在宅歯科医療の充実と質の向上

4. 「もの」と「技術」の分離と適正な技術評価

- (1) 現行の技術評価算定方式の見直し
- (2) 歯科固有の技術に対する適正評価
- (3) 補綴における診断・設計の充実と評価
- (4) 有床義歯の製作に係る技術料包括化の見直し

5. 医療安全対策と医療の質の確保・向上

- (1) 小外科の積み重ねである歯科医療における感染防止対策や感染性廃棄物等の処理に対する適正評価
- (2) 全身疾患を有する患者に対する歯科診療行為上のリスクマネジメントに対する評価

6. その他

- (1) 請求事務の簡素化
- (2) 医療従事者業務の適正評価
- (3) その他必要事項

〔調 剤〕

＜保険薬局における調剤報酬関係＞

I 基本的考え方

1. 患者ニーズに対応した技術の評価
2. 患者にわかりやすい調剤報酬体系の確立
3. かかりつけ薬剤師の役割の評価
4. 医薬品適正使用の推進

II 具体的検討事項

1. かかりつけ薬剤師の役割を踏まえた指導管理・情報提供の推進
2. 保険薬局の機能に応じた調剤基本料の評価
3. 処方内容に応じた調剤料の評価
4. 長期投薬の処方実態を踏まえた調剤技術及び情報提供等の評価
5. 患者の服薬状況や医薬品の特性に応じた調剤技術等の評価
6. 患者にとって必要な薬剤情報提供の推進
7. 終末期および療養環境に応じた在宅医療の推進

<病院・診療所における薬剤師業務関係>

I 基本的考え方

1. 病院・診療所薬剤師の役割の適正評価
2. 薬物使用における患者の安全確保の評価
3. 医薬品適正使用の推進

II 具体的検討事項

1. 注射薬に係る調剤技術の評価
2. 入院患者への薬剤管理指導の推進
3. 外来患者への調剤、指導管理及び情報提供の評価
4. その他必要事項